

会長就任の挨拶（プロバスだより）

「語り合いたい場、語れる場、学び高まる場」に

2024（令和6）年度

会長 塚本 吉紀

社会を困惑させ、人々を困らせたコロナ感染も静まり第5類というインフルエンザと同じ扱いへと変容しておりますが、我々の会は高齢者が多いだけに安心とまでは行かず、しかし、その中で会員のこれまでのキャリアを活かした社会貢献が、少しでもできるような活動をじっくり、しっかり、内容のあるものを求め、進めていきたいと思っております。プロバス活動の一つである定例会も3年間の中止期間や生涯学習サロン・研修事業・25周年の事業の縮小等もありましたが、この中で音楽祭（合唱祭）の実施、また全日本プロバス協議会八王子大会を実施できたことは、会員皆様の活動への温かい理解と協力とこの事業の重要性を認識した会員の力と思っております。

生涯学習サロンに代わり小中学生に音楽の道から健全育成への支援を、また、宇宙の学校の充実に2023年は力を入れてきたと思っております。しかし、会員がその運営、参加にあたり支障が出る状況がありましたので、2024年には、これまでの事業内容をしっかりと吟味し、検討し、先へ進む道を探ることが課せられていると思っております。また、ここで会員数の減少、高齢化に伴う組織の現状を鑑み、現在の当クラブの力に見合った活動や事業に取り組むべきであるとも考えます。このような現状を勘案して新年度の組織体制は、委員会、プロジェクトチームとも昨年度の体制をほぼ引き継ぎ、新たな体制による改革よりも、堅実に前年度の執行の行事内容を継続し、堅持するとともに、状況を踏まえ、会員相互の理解のもと話し合い、協議をし、事を進めていきたいと思っております。新年度は「語り合いたい場、語れる場、学び高まる場」をスローガンとし、共に生き、共に学ぶ、心開いた集まりの会にしたいと思っております。また、高齢化の当クラブであることを認識したうえで、地域社会に貢献できるクラブを目指し、日々の活動を地道に歩むクラブでありたいと考えます。来年は八王子プロバス設立30周年を迎えますので、その準備態勢を整えることに今年度より取りかかります。私がスローガンに掲げたことを、多くの会員が感じ、協力をして頂けるように頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。